

# たのしもう!PTA活動 子どもたちのために、 私たちのために



鳥取県PTA協議会

118

す。見逃してしまつたときには、先生や友達の保護者さんに教えてもらひ

つながろう鳥P・  
じどもたちのために

じやたちを見守つてしま  
たらやのじゅ。

## 研修委員会

会2回目の江幸吉のイニシアチブによる、ルの開催優秀広報紙集の発行などの事業を行います。

## 日本PTA長崎大会全体会員大会フィナーレに向けて

各都道府県のPTA協議会の方々が歌を歌いながら踊るというとてもユニークな企画に参加するために、鳥取県PTA協議会では、鳥取の代表地でもある鳥取砂丘と砂の美術館で、東部、中部、西部の各代表の役員に集まって頂きビデオ撮影を行いました。

私も今年、県Pの理事としてたくさんの経験を積んでおられる先輩方といっしょに、日本PTA全国研究大会に参加させて頂きました。全国のPTAがどのように活動しているのか、どういったことに取り組みを考えているのかがわかりました。この経験をもとに、よきところを取り入れ、PTA活動が少しでも充実したものになればと思います。

(澤幸里)

## CONTENTS



このロゴマークは八幡山PTAの由本遵紀さんのデザインによるものです。

[P1]

- ・県P会長あいさつ
  - ・県Pってなんだいや
  - ・日P大会フィナーレに向けて

[P2]

- 教育懇談会報告  
[P3]  
·日P全国研究大会報告

·中国·

- ・H25調査研究事業報告
  - ・広報誌コンクール表彰
  - ・編集後記

編集・発行  
鳥取県PTA協議会



事務局

〒680-0846 島取市扇町21

県民ふれあい会館内

TEL:0857-21-2285

FAX:0857-21-0906

E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp  
<http://www.tottori-pta.net/>

子どもたちが、  
自己的ことを大すきになれるように!  
私たち大人にできること

# みんなでもっといい子育てを!! 教育懇談会を実施

平成26年度鳥取県 PTA 協議会「教育懇談会・情報交換会」が、8月2日（土）倉吉体育文化会館で開催されました。

はじめに参加者が4つのグループにわかれ、小グループ討議を行い、活発な意見交換が行われました。

全体懇談会では、鳥取県教育委員会いじめ・不登校総合対策センター長の松岡一氏より、鳥取県のいじめ対策への取り組みの概要やいじめの実態の説明を受けました。

「いじめは、どの児童生徒にも、どの学校においても起るるものであること、誰もがいじめる側にも、いじめられる側にもなりうるものであることを認識しておく必要がある。児童生徒を健全に育成し、いじめから一人でも多く救うためには、周りの大い人が、いじめは決して許されない行為であるとの意識を持ち、それぞれの役割と責任を自覚して対応を行い魅力ある学校、社会を目指していきましょう。」など、お話をいただきました。

その後、グループにわかれ、ワークショップを行いました。以下、グループで出された意見です。

## どうしていじめはなくならないの

- ・子ども自身の未熟さ
- ・自尊感情の低さ
- ・善悪の判断など道徳観
- ・グループ心理
- ・ストレス解消
- ・競争意識
- ・人より優位に立ちたい
- ・親、大人、地域社会がかかえる問題
- ・いじめ容認論



## 大人としてなにができる。

- ・たっぷりの愛情を注ぐ
- ・しっかり話を聞く
- ・善悪をきちんと教える
- ・親自身がルールを守り、手本を示す
- ・体験させる、体験を伝える
- ・心を育て、いのちの大切さを伝える
- ・親、地域がもっと知り合う
- ・相談できる場の確保

2つの話し合いから、まず、子どもたちには、しっかりとした生활習慣を身につけさせること。保護者は、仲良しグループをつくる必要はないけれど、やがても立派ながりをつくり、だれも孤立させないこと。何よりも、親として、子どものロールモデルになれるよう、ともに学びながら、子育てをしていくことを確認しました。

**鳥取県教育委員会小中学校課長 石田明広氏講評**

大事にすべきことは「子どもたちの心をどう育てるか!」。学力も、人としての成長も、心の育ちが重要で、いじめ、不登校の問題もすべてつながっている。

幼い時の記憶に、喜び、うれしさの感情が多いか、それとも辛い、かなしい感情が大きいのかによって、大人になってからの気持ちの安定がちがうことをふまえて、子どもたちが自分は愛されているという実感をもてる子育てを、家庭、学校、地域がいっしょになって取り組んでいきましょう。



## こんなテーマで 熱く語り合いました!



### ケータイ・インターネット・マスメディア

- ・全国学力・学習状況調査では、携帯などを持たない、または家庭内に約束を守っている児童は正答率が高い。
- ・LINE を会話感覚で使っているが、拡散する可能性を秘めている。
- ・LINE ができないとコミュニケーションが成り立たない問題が生じている。
- ・インターネット推進委員の養成希望。
- ・韓国ではネット依存が問題。
- ・携帯やスマホはいずれ持つことを見据えて正しい知識を親子が持つこと、家族でのしっかりとルール作りが大切。
- ・親が知らないでは済まされない。責任に重要性を肝に銘じておくこと。
- ・これからもなんらかの動きを起こし、啓発に努めたい。

### 土曜授業・学力向上

- ・週 5 日制は法律も変わり、市町村の判断で土曜授業ができるようになった。
- ・県は後押しをしていて、土曜日の過ごし方を考えてもらい、学校の授業だけでなく、広い人材、地域の方々が学習に取り組むことを希望している。
- ・スポーツの県大会などの調整ができる反面、教師への勤務・振替などの負担が増える可能性もある。
- ・各地域により取り組みはさまざまであり、実施しているところもあるが、人材確保、実施内容が検討課題となっている。
- ・単に土曜日の授業を増やして詰込み方式にするのではなく、夢や目標を広げるためにも、保護者の後押しが必要である。

### 自立した子どもを育てる家庭教育力

- ・全国体力・運動能力調査において、小中では下回る種目も多いが、高校では上回っている種目も多い。
- ・休み時間の遊びが減ってきている。
- ・県では、運動するきっかけづくりを進めている。
- ・全国学力・学習状況調査において、地域の大い人や子ども同士のかかわりが、全国と比べて低い。
- ・生活習慣における保護者の行動や考え方は子どもの学力に反映する。
- ・低学年は動植物と、高学年は地域、家庭との体験活動を進めていく。
- ・いじめは全国に比べ1/4くらい。
- ・公民館行事への参加が少なくなっているし、失敗しない段取りが増えた。
- ・長期宿泊体験は、いろいろな力がつく。

### PTA 活動の活性化

- ・各部で資料を作成するなどして、教師の負担軽減に心がける。
- ・各部の構成が毎年変わるので例年の様子を知っている先生に頼りがち。
- ・PTA の T は先生なので、PTA 活動に積極的に参加してほしい。
- ・生涯学習は学校や社会での意図的な学習活動だけでなく、スポーツ活動、ボランティア活動など多くのを含む。
- ・地域社会とのかかわりを持つことで、孤立を防ぐことにつながり、PTA 活動はその一步になるのではないか。
- ・役員決めは、本年度役員が次年度の適任者への声かけ、立候補制や 6 年生保護者、副会長は 5 年生保護者から選出やくじ引きもあるが、いずれにせよ、役員期間を楽しむことが大切。



# 日本PTA全国研究大会

異国情緒豊かな長崎で集い、語らい、学びあい  
～きてみんね さるいてみんね よかとこばい～

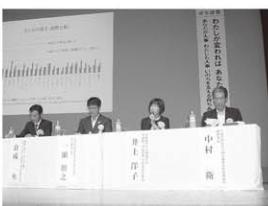


今年の日本PTA全国研究大会は異国情緒豊かな平和都市長崎市を中心に行われました。参加者は9300名以上と日本全国大会としては最大規模となり、非常に盛大な会となりましたので、その概要を報告します。(垣本雅史)

1日目は長崎県内10会場にわかれで分科会が、2日目は長崎県立総合体育館メインアリーナをメイン会場、サブアリーナ、ブリックホールをサテライト会場に全体会が開催されました。

鳥取県PTA協議会からは18名と井上会長がパネリストとして参加した第6分科会「人権・平和学習」と全体会に参加しましたので、その概要を報告します。(垣本雅史)

わたしが変わればあなたも変わるあなたが大事なわたしあ大事いのちを支える育ちあり



パネリストとして発言する井上鳥取P会長

第6分科会は世界平和を願う長崎市平和会館を会場に開催されました。

最初は下平作江さんの被爆

が体験談「生きる勇気でした。防空壕の中にいたところに原爆が落とされ、起き飛ばされて

が死体が沢山あった。何とか生き残ったがお母さんもお姉さんも亡くなってしまった。妹さんは後遺症に耐えられなくなり18歳で自殺。自分も死のうとした

が死ぬ勇気が無かった。最後の「やさしさの貯金」を

つて語りました。自分の勇気を持つて下さることの意味に自然に涙がこぼれ、

が大切だと痛感しました。

次は臨床心理士の倉成央さんの「じめかづる子どもの命」という基調講演。

最近ははじめかづるかわらないうことが増えてきたが、「親

は迷惑ない」といふ

が大切だといふ

